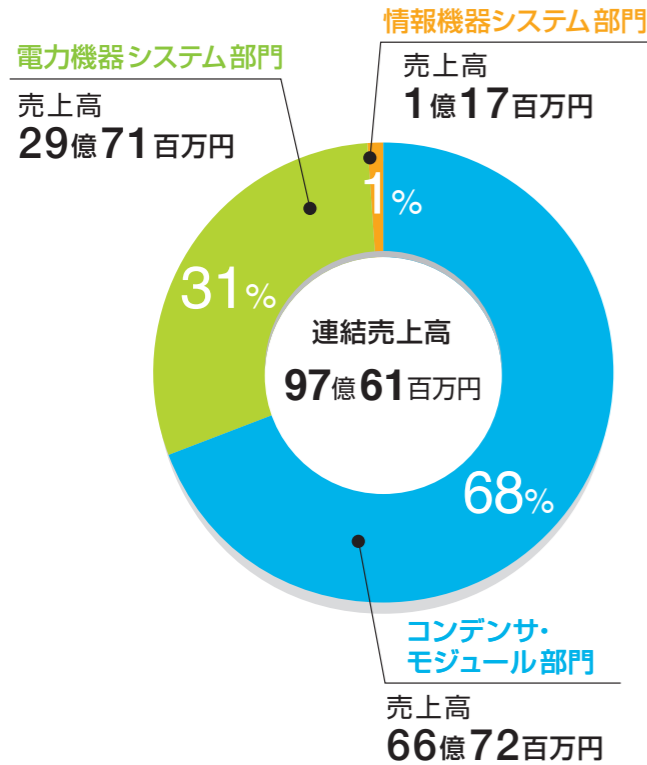


■ 部門別売上高比率 (2016年9月)



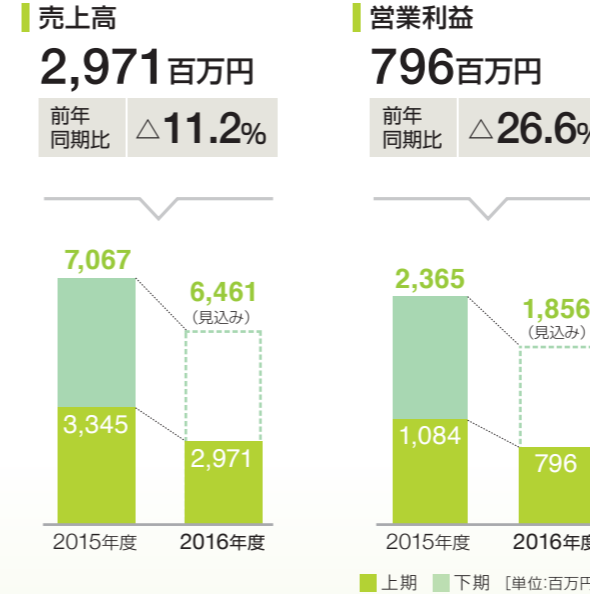
売上高 構成比率 68% **コンデンサ・モジュール部門**



電鉄車両用フィルムコンデンサ

電鉄車両用フィルムコンデンサが堅調に推移しましたが、空調機器分野向けのフィルムコンデンサが減少いたしました。また、今期は過去に納めた電気二重層コンデンサの一部に発生した不具合に対する改修費用を見積計上いたしました。厳しい状況が続いておりますが、開発・拡販を強化し受注獲得に取り組んでまいります。

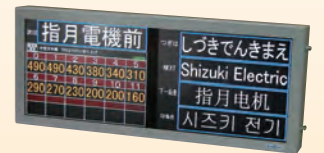
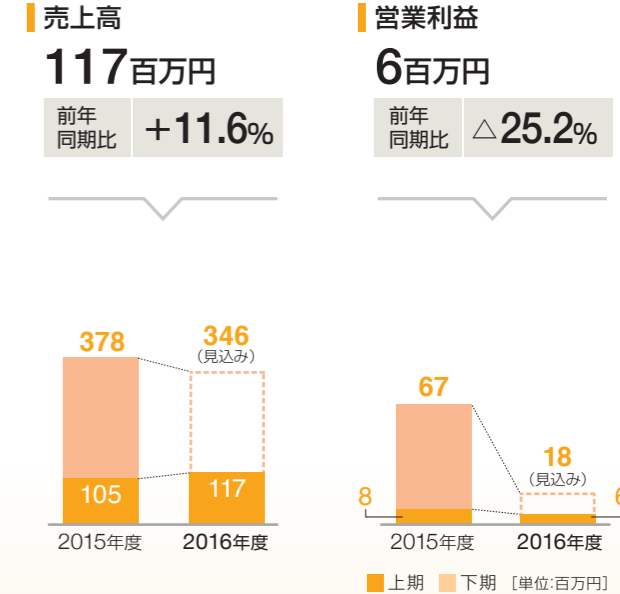
売上高 構成比率 31% **電力機器システム部門**



フリッカ抑制装置

電力品質改善装置については、前年同期比約1.5倍の売上増加となりました。一方、瞬時電圧低下補償装置および力率改善装置が減少いたしました。電力機器全体の売上は前年同期比で11%の減少となりました。売上増加を目指し、引き続き、シェア拡大と販売強化を図ってまいります。

売上高 構成比率 1% **情報機器システム部門**



バス車載用運賃表示装置

今期は、鉄道向けの表示装置が堅調に推移いたしました。この状況は下期も継続する見込みです。また、バス車載用運賃表示装置およびバスロケーションシステム用表示装置については、前年同期に対し若干減少しましたが下期は回復するとみております。今後も商品開発とラインナップ拡充を進め、販売強化に努めてまいります。

※セグメント別の営業利益については、調整額△718百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)